

## 九谷焼技術者自立支援工房 中期経営目標取組状況（平成28年度）

### 中期経営目標（実施期間 H27～H29）

- ① 共同工房利用者数については、少なくとも現状の水準を下回らないよう更なる利用促進に努めます。
- ② 個室工房入居率100%を維持します。
- ③ 工房利用者満足度は、引き続き90%以上を維持します。

### 1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値 (H25)	実績値 (H28)	目標値 (H29)
① 共同工房施設利用者数	968人	885人	970人
② 個室工房入居率	100%	100%	100%
③ 工房利用者満足度	92%	98%	90%以上

### 2 平成28年度における主な取組内容

#### (1) 共同工房利用者の確保・支援について

- ・共同工房利用者については、九谷焼関係団体や研修所卒業生へのPR等に努めましたが、利用者数は885人と目標値を下回りました。原因としては、利用者が独立した工房を構えたことによるものと考えています。
- ・ホームページにて、窯の予約状況や、若手作家の作品展の開催情報を発信するなど、その充実を図りました。

#### (2) 個室工房入居者への支援について

- ・各種企画展への出展情報の案内をはじめ、九谷焼干支飾皿のコンペや県内支援機関担当者の紹介なども行い、作品や作風のPR支援に努めました。

#### (3) 「ギャラリー彩」の充実について

- ・常設展示商品の定期的な入れ替えに努めているほか、知名度を高めるため、5月の茶碗まつりや11月の陶芸村まつりに合わせて卒業生の個展・グループ展を開催し、賑わい創出にも努めました。
- ・ホームページで若手作家ごとの紹介ページを掲載し、九谷焼の魅力をPRし、情報発信に努めました。

### 3 平成29年度における取組内容の見直し等

- ・引き続き、ホームページ等を通じて支援工房のPRに努めるほか、「ギャラリー彩」での企画展示のテーマについては、アンケート結果を踏まえ見直し、多くの方に九谷焼の魅力をPRし興味を持っていただけるよう努めます。
- ・施設内設備のメンテナンスを行い、現状の水準を下回らないように更なる利用促進に努めます。

参考資料

1 施設の利用状況

(1) 利用指標（利用人数、稼働率などの状況）

指標	H25	H26	H27	H28	備考（増減理由等）
共同工房施設利用者数	968 人	948 人	714 人	885 人	
共同工房設備利用件数	674 件	719 件	595 件	684 件	
個室工房（貸室）の入居率	100%	100%	100%	100%	
「ギャラリー彩」見学者数	4,926 人	8,734 人	7,889 人	9,941 人	

(2) 使用料の収入実績

（単位：円）

指標	H25	H26	H27	H28	備考（増減理由等）
共同工房施設使用料	3,060,500	3,579,120	3,149,160	3,210,120	
個室工房施設使用料	1,331,250	1,450,130	1,529,740	1,336,750	

2 収支の状況

（単位：千円）

		H25	H26	H27	H28
歳出	職員費	5,461	5,816	5,689	5,923
	管理運営費	4,004	4,757	3,942	3,934
	計	9,465	10,573	9,631	9,857
歳入	共同工房施設使用料	3,060	3,579	3,149	3,210
	個室工房個室使用料	1,331	1,450	1,530	1,337
	個室工房光熱費	1,307	1,317	1,146	1,203
	一般財源	3,767	4,227	3,806	4,107
	計	9,465	10,573	9,631	9,857

3 利用者 1 人あたりの一般財源投入額

		H25	H26	H27	H28
一般財源投入額（千円）①		3,767	4,227	3,806	4,107
職員費を除いた額（千円）①'		0	0	0	0
利用者数（人）②		2,793	2,773	2,539	2,710
利用者 1 人あたりの一般財源投入額（円） ①÷②		1,348	1,524	1,499	1,515
職員費を除いた額（円）①' ÷ ②		0	0	0	0

※利用者数は（共同工房利用者数＋個室工房入居者数×365日）